

令和2年度事業報告

令和2年度一般財団法人狛江市文化振興事業団の施設利用、自主事業に関し、以下ご報告いたします。

平成31年度に第4期指定管理期間が始まり、2年目である令和2年度の施設利用状況ですが、稼働率につきましては前年比からホールは33.5%で22.5%減、展示多目的室は38.4%で15.3%減、リハーサル室は33.3%で39.2%減と大幅な稼働率減となりました。これは、平成31年度終盤から続く新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月7日(火)～5月25日(月)、1月8日(金)～3月21日(日)の2度の緊急事態宣言の影響と臨時休館(3月28日(土)～5月31日(日))による利用団体の公演中止などによるものです。そのため、全施設とも4月、5月の稼働率は0%、前例のない結果となりました。ホールにつきましては、6月から利用人数等の制限を設け貸出を再開しましたが、事前練習等ができない等でキャンセルが多く、空いた日程にも新規の予約が入らない状況が続きました。8月から若干の利用が出てきましたが、練習のみや関係者限定対象の公演が多い状況でした。11月からは客席使用を50%以下に限定、あるいは無観客で公演を実施する団体もあり、前年度の同時期と比較するとまだ稼働率は及ばないものの50%近くまで上がってきました。しかし、12月以降は例年、学校関係などの発表会シーズンにも関わらず、学校判断で中止や部活動ができない等の理由でキャンセルが相次ぎ、稼働率は再び低下を辿ることとなりました。展示多目的室につきましても、8月以降は、ホール利用団体が定員数を確保するための楽屋利用することが増え、前年度の同時期よりはやや低いですが50%前後の稼働率となりました。定期的に利用の団体の頻度は減ったものの、リピート利用を維持しています。ここ数年増えてきました市外団体による勉強会などの利用は引き続きあり、リピート化が顕著に表れております。12月以降は、飲食を伴う利用の制限により、キャンセルが相次ぎ、再び稼働率は低下を辿ることとなりました。リハーサル室につきましても、ホール利用に連動した楽屋としての利用のため、8月以降はホール利用稼働率に連動して、50%前後の稼働率になりました。人数制限や利用方法の制限に沿ったダンスや楽器の個人練習で利用される利用者も増え、リピートする傾向が見られます。12月からは再び、ホール利用と連動し、稼働率低下にはなりませんが、個人練習での利用は新しい利用者が増え、明るい材料となりました。このリハーサル室の単独個人利用については、稼働率アップとホール利用への流れのために注目していくべき重要なポイントだと考えます。今後は、新規利用団体のリピート化への方策や新規利用者の開拓への方策を練っていきたいと考えます。

結果として、施設利用料金収入は約10,740千円で、前年度比△19,636千円、45.3%減、予算額と比較すると△21,309千円の歳入欠損となっています。

残念ですが新型コロナウイルス感染症は未だ終息の兆しが見えません。そのため、まだしばらくは難しい状況が続くと思われませんが、コロナの影響で公演中止を余儀なくされる団体や芸術活動ができない利用者にも優しいサービスを提供していきたいと考えます。

次に自主事業ですが、当初ホール21事業23公演(共催、協力等9公演を含む)、ステージ&ロビー(ほっとライブ)6事業6公演を予定していました。しかし、3月末から5月末まで新型コロナウイルス感染防止対策のため休館となり、4月以降の公演の実施、新規公演のチケット販売等ができなくなりました。このため、公演の延期対応をしましたが、感染対策等で先の見通しがたたなくなり、また、チケット収入の減少等もあり、10月以降の自主事業(共催は除く)は全て再調整、十分な感染対策をし、客席は収容数の50%以下の使用とした「エコルマほっとライブ ホール編」として6事業6公演を実施。共催、協

力等の6事業8公演と合わせ、計12事業14公演の実施となりました。

まず、8月に今年度、最初の実施事業となったアーツカウンシル東京との共催事業、「パフォーマンススキップトーキョー ダンスワークショップ&成果発表」は直前まで実施判断を探る状態でしたが、小学生のワークショップ参加者を15名に絞り、万全の感染対策をしたうえで行いました。

次に、10月より再開した自主事業はコロナ禍でもあることから、当初公演を予定していた出演者や若手出演者らを中心に、この時期だからこそという企画内容にし実施しました。積極的な広報活動ができないという難しい状況であり、集客が厳しい公演もありましたが、熱心なお客様にご来場いただきました。また、児童演劇協会との共催事業「ふれあいこどもまつり」は3年目となった今回が最終回となりました。

狛江市教育委員会からの委託協力事業として毎年実施している市内小学4年生を対象とした「公共ホール音楽活性化事業ガラコンサート」は2公演、実施しました。

支援型事業に関しては3団体を決定しましたが実施できず、来年度に延期としています。

なお、5月にホール専用YouTubeチャンネルを立ち上げ、市内中学校吹奏楽部・合唱関係支援として楽器演奏アドバイス動画を作成し公開、また、過去の自主事業の記録動画等を随時、公開しました。

また、狛江市からの依頼により、プロ活動中の文化芸術関係者の支援として「プロを応援します！狛江市文化芸術活動支援奨励金対象者募集」を行い42件（70名）を採択、作成された動画を公開しました。

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、大幅に計画変更となった1年となりました。来年度もその影響が考えられますが、十分な対策をしたうえで継続実施に努めます。